

エピジェネティック攪乱による 脳機能障害誘導機序の解明とその改善法

中島 欽一 先生

九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門
基盤幹細胞学分野 教授

日時 3月4日(火) 17:00-18:00

場所 医学部図書館十全記念スタジオ

※医学専攻・博士課程専攻共通Up-to-dateセミナーとして認定します。

脳・神経系を構成する主要な細胞種であるニューロンやグリア細胞は共通の神経幹細胞から分化・産生されることが知られています。これまでに再生しないと考えられていた成体の脳にも神経幹細胞は存在し、その神経幹細胞から新しく産生されたニューロンが脳の高次機能に関与することが示唆されています。神経幹細胞の分化は、細胞外因子等のクロストークのみならず、DNAのメチル化を含むエピジェネティクス等の細胞内在性プログラムにより時空間的に巧妙に制御されています。近年、この制御が乱れることにより、精神・神経疾患発症の原因となり得ることがわかってきました。本セミナーでは、中島先生の最近の知見を含め、これまでの成果をご発表頂く予定です。皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

学際領域展開ハブプロジェクト〈健康寿命科学〉の共催セミナーとなります。